

登録番号 第 24593 号

マツガードフラッシュ®

- 特長：
- 新規作用機構（殺虫剤分類 30）のプロフラニリドが有効成分です。
 - 残効性に優れています。
 - 耐雨性に優れ、散布、乾燥後に降雨があっても影響を受けにくい製剤です。
 - 車の塗装や墓石に対して、変色や汚染などの影響がほとんどありません。
 - 希釈性に優れた製剤です。
 - いやな臭いがほとんどない製剤です。

マツガードフラッシュは三井化学クロップ&ライフソリューション(株)の登録商標です。

有効成分	プロフラニリド・・・20%	包装	500ml×2
その他化管法該当成分	－		
性状	淡黄色水和性粘稠懸濁液体	有効年限	5年
毒性	普通物*	危険物	－

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

【適用病害及び使用方法】

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	プロフラニリドを含む 農薬の総使用回数
まつ (生立木)	マツノマダラカ ミキリ成虫	2000倍	3L/本 (樹高10m)	成虫発生直前 又は発生初期	4回以内	散布	4回以内

農薬の使用上の注意事項

- (1) 使用前によく振ってから使用すること。
- (2) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- (3) 本剤によるマツノマダラカミキリ成虫防除は後食防止を目的とするものであり、成虫発生直前又は発生初期に時期を失しないように散布すること。
- (4) 散布液量は、樹高10mのまつ1本当たり3Lを標準とし、木の大きさにより適宜増減し、樹冠部を中心に全面に散布すること。
- (5) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (6) 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨、使用に際して講ずべき被害防止方法及び解毒方法

- (1) 農薬使用者に係る注意事項
 - 1) 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
 - 2) 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
- (2) 蜜蜂に係る注意事項
 - 1) ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
 - 2) 関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。

生活環境動植物に有毒な農薬については、その旨-----

- (1) 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (2) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨-----

通常の使用方法ではその該当がない。

農薬の貯蔵上の注意事項-----

直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。